

西丹沢縦走山行記録

記 鳥切昇治

日 時:2014年9月27日(土)~28日(日)

コ ー ス:西丹沢自然教室—白石峠—畦ヶ丸(1293m)—城ヶ尾峠—蕨釣山(1379m)—高指山—切通峠—鉄砲木ノ頭—三国峠—三国山(1320m)—明神峠—湯船山—峰坂峠—世附峠—不老山

メンバー:鳥切昇治単独



蕨釣山山頂から朝日に照らされる富士山

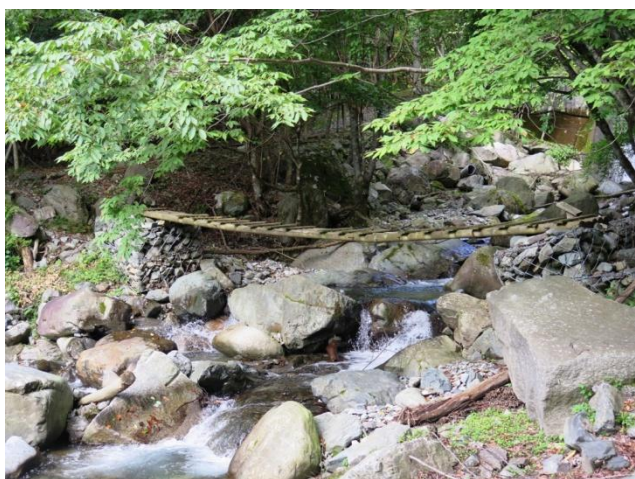
9月27日(土) 天候:晴・曇 自宅~西丹沢自然教室~白石峠~畦ヶ丸~蕨釣避難小屋

4月 7 日に大和さんと今回のコースを犬越路から歩こうとしたが、残念ながら果たせず白石峠から下山した。畦ヶ丸から西側の丹沢は、なかなか入山する機会が無かったので単独で歩いてみることにした。今回のコースは高指山まで東海自然歩道になっているようだ。

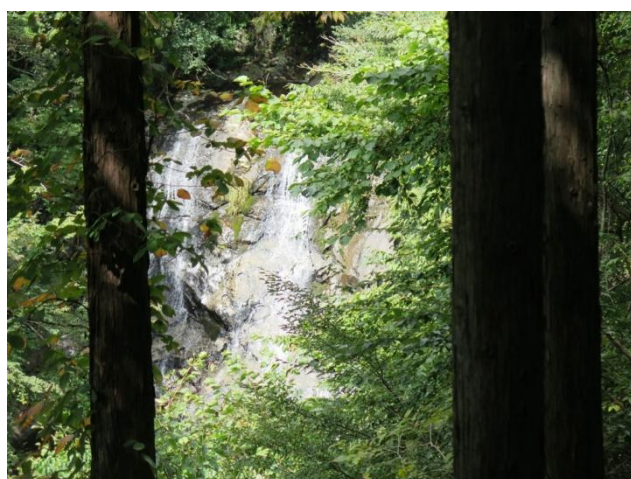
西丹沢自然教室への一番早いバスに山北から乗車。土曜日に登山者が多かった。8時半過ぎに西丹沢自然教室に着き、山行計画書を提出して直ぐに出発。用木沢出合迄舗装された林道を歩く。用木沢出合の林道ゲートの脇を抜け車が走った



一番バスで西丹沢自然教室に到着



林道終点から白石沢に架かる木橋を渡る



白石滝(別名:大理石の滝)

後がない林道を終点まで歩く。白石沢に架かる木橋を数回渡り右側へ支流のザレ沢を詰める。左に高捲く様に登る所で炊事用の水を汲む。左下に白石滝を見て沢筋を詰め、白石峠に出た。



白石峠に到着



モロクボ沢ノ頭(畦ケ丸と城ヶ尾峠方面の分岐点)

畦ケ丸へ向う。ブナ林の稜線は眺望が悪く楽しみが無い。モロクボ沢ノ頭まで3.6kmを黙々と歩く。モロクボ沢ノ頭は畦ケ丸と城ヶ尾峠方面の分岐点になっている。畦ケ丸へ700m行って戻って来ることになる。緩やかに登って行くと畦ケ丸避難小屋の所に出て、畦ケ丸山頂(1293m)はそこから100m程先にある。ブナ



標高1293mの畦ケ丸山頂



城ヶ尾峠(1160m)

に囲まれて広く、眺望は良くないが落ち着ける山頂だ。昼食の大休止とする。賑やかなパーティが来たので

山頂を後にする。

モロクボ沢ノ頭に戻り、城ヶ尾峠へ下る。大界木山の上下りを経て、2kmを1時間程で城ヶ尾峠(1160m)に着いた。道志村と中川へ下る登山道の十字路になっている。蕨釣山への道は明瞭で標識も整備されていて不安なく歩ける。中ノ丸(1280m)は城ヶ



中ノ丸(蕨釣避難小屋まで1.4km)



城ヶ尾峠から中ノ丸への登山道

尾峠から1.6km、蕨釣避難小屋までのほぼ中間地点。ここまで結構登って来た。明るい内に着けそうだ。

ブナ沢ノ頭の標識を過ぎ、道志村から登って来る登山道の分岐を過ぎると蕨釣避難小屋が見えて来た。城ヶ尾峠から3kmの道程だった。

蕨釣避難小屋はブナ林の中にある小さな小屋だが、



蕨釣避難小屋



蕨釣避難小屋の内部

室内は板の間とテーブル・丸太の椅子があり清潔にされている。蛙ヶ丸から誰にも会わず、今夜は一人の様だ。携帯電話はアンテナ1本で繋がらず、ラジオを掛けると御嶽山が噴火して、大勢の登山者が巻き込まれていると伝えていた。

一人寂しく夕食(牛飯・シチュー)を食べ、シュラフに潜り込む。夜中に寒くなって時計の温度を見ると13℃。シャツと防寒着を着込む。外に出ると満天の星で南側に町の灯りが見えた。丹沢湖方面の様だ。

コースタイム

(往路)自宅 6:00—大船 6:30—7:04 国府津 7:07—7:32 山北 7:35—8:35 西丹沢自然教室

西丹沢自然教室 8:41—9:05 用木沢出合—11:04 白石峠 11:14—12:40 モロクボ沢ノ頭—12:05 蛙ヶ丸

13:27—13:43 モロクボ沢ノ頭—14:25 大界木山—14:43 城ヶ尾峠 14:53—15:32 中ノ丸—16:10 蕨釣避難

小屋(泊) (西丹沢自然教室～蕨釣避難小屋 約15.6km)

9月28日(日) 天候:晴 蓼釣山～高指山～三国山～湯船山～不老山～駿河小山～自宅
 目覚まして起こされる。朝食(中華丼・豚汁)後、掃除をして小屋を後にする。キャップライトを点けて蓼釣山へ登る。蓼釣山(1379m)で日の出を迎えた。朝日がブナの間から差し込む。富士山が朝日に照らさ



蓼釣山(1379m)山頂



蓼釣山山頂から日の出前の富士山

れる。山頂からの富士山は素晴らしい眺めである。標識に高指山まで7.4kmとある。

風が強く冷たいが防寒着を脱いで稜線を歩く。昨日から熊の糞と思われるものを3ヶ所で見掛けたのでストックに鈴を付け、ラジオを鳴らしながら歩く。広葉樹林の中の稜線歩きは気持ちが良い。アップダウンがあるが標高差が無いのできつくは無いが、登りではペースを落とさない息が切れる。年だなー。

水ノ木分岐まで来た。蓼釣山から5.1kmを約2時間の歩き。標識に山伏峠へ600mとあった。高指山へ向う。標識に富士岬平と言う所に着いた。ススキ越しに富士山の眺めが素晴らしい。15分程で高指山(1174m)に着いた。ここからの富士山の眺めも素晴



水ノ木分岐



高指山(1174m)山頂からの富士山

らしい。此方の方が富士山に近づいた感じで山中湖とのロケーションが良い。切通峠へは、道が明るく広



切通峠

くろんろん気分を下る。だが切通峠から再び登りになり、急ではないが辛い登りとなる。鉄砲木ノ頭(明神山)からの富士山の眺めも素晴らしい。山中湖が近くに見える。ここは三国峠から近いので富士山を見に登って来る人達がいた。下って行くと三国峠を通過するバイクや車の騒音が大きくなる。三国峠で水分補給



三國山(1320m)山頂

べていると箆坂峠方面から甲高い声が聞こえて来た。年配の男女、20名位のグループだった。このグループも食事を始めて騒々しくなったので早々に退散する。明神峠へ下る。途中車道を横切り、車道に沿った道を歩く。富士スピードウェイが右下に見える所で自宅に電話する。明神峠に出る所で道が消えた。手前で車道に出た方が良かった様だ。

明神峠から湯船山に登る。緩い登りが続き湯船山手前で明神山に回る。明神山に山頂の標識が無く、大昭和製紙社有地の看板があった。湯船山(1041m)はブナの木に囲まれた深呼吸がしたくなるような清々しい場所。



鉄砲木ノ頭(明神山)山頂からの富士山

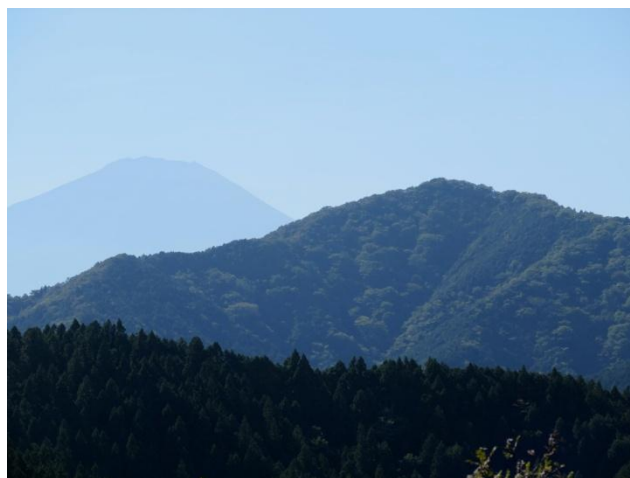
してから三国山に登る。急ではないが辛い登りで、ユックリペースで登る。三国山(1320m)はブナの木に囲まれた癒しの広場である。木のベンチで昼食を食



ブナに囲まれた湯船山(1041m)山頂



サンショウバラの丘から不老山



振り返ると湯船山越しに富士山が霞んで見えた

世附峠へ向って長い下りが続く。峰坂峠から緩く登って行くと開けた所に出た。標識にサンショウバラの丘と書いてあった。良く見るとサンショウバラの木が周りに沢山ある。振り返ると湯船山越しに富士山が霞んで見えた。昨日から歩いて来た山波も見える。フェンスに沿って下って行くと世附峠に出た。最終の不老山まであと一登りである。行動食と水を補給してから登る。



不老山(928m)に到着

下山は故郷の小山町の金時公園に下り、駿河小山駅から自宅に戻った。金時公園に下る途中、林道に出てから足が攣りそうになり、しばらく休む。金時公園から同級生の車で駿河小山駅まで送ってもらった。

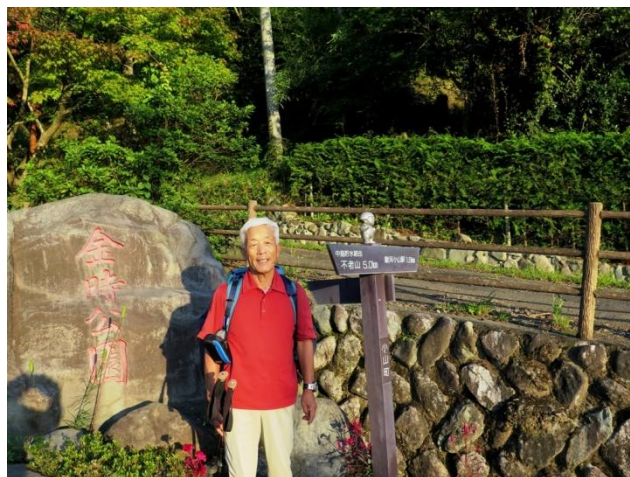
コースタイム

蓼釣避難小屋 5:13—5:38 蓼釣山 5:48—7:50 水ノ木分岐—8:30 富士岬平 8:35—8:50 高指山 8:54—9:16 切通峠—10:05 鉄砲木ノ頭(明神山) 10:10—10:22 三国峠 10:25—10:43 三国山 11:03—11:45 明神峠—12:25 明神山—12:30 湯船山—峰坂峠—14:00 世附峠 14:05—14:45 不老山 14:50—16:45 金時公園(登山口) 16:50—17:00 駿河小山 (蓼釣避難小屋～金時公園 約27km)
(帰路)駿河小山駅 17:22—17:55 国府津 18:00—18:26 大船 18:30—18:34 本郷台



世附峠

サンショウバラで有名な不老山(928m)に到着。長い縦走が終った。好天に恵まれて辿り着く事が出来、74才でも歩けることを確認した2日間だった。



金時公園に到着

以上